



No. 170

令和2年4月30日号

信濃町議会だより



しっかり手洗い！真剣に。

第417回定例会 3月会議

3月会議概要 2～8ページ
賛否一覧表ほか 9ページ
一般質問 10～13ページ

政策提言 14ページ
ぎかい活動365日 15ページ
わたしの出番
三館企画／一茶記念館 16ページ

発行／信濃町議会 発行責任者／森山木の実
編集／議会広報調査特別委員会

〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2

TEL(026)255-2212

新年度一般会計予算を賛成多数で可決

総額56億800万円—対前年度比7,200万円の減—

第417回定例会3月会議

定例会3月会議が、3月4日から24日までの21日間の期間で開催されました。

3月会議は「予算議会」といわれるとおり、令和2年度の一般会計ほか各特別会計の当初予算案を中心に、条例制定・改正案8件や農業委員会委員の同意案件12件など、町長提出案件46件が審議され、すべて可決・同意されました。ほかに請願・陳情案件5件と議員発議3件が審議されました。

なお、一般質問は7名が行ない、町政を質しました。



テレワークの定着を ノマドワークセンター

予算特別委員会

小委員会審査 主なもの

総務産業小委員会

総務費

Q 相続放棄によって、固定資産税の支払いがなくなったケースはありましたか。

A 放棄したケースが増えているとは思えませんが、手続きをしていないケースは多いと思います。

Q 普通交付税の見積りが前年より増えていますか、なぜですか。

A 主に消費税増税によるものや、「会計年度任用職員制度」と「幼児教育無償化」についての歳出増が見込まれているためです。

Q ノマドワークセン

ター」の企業誘致について外部事業者任せきりにせず、職員も同行してはどうですか。

A 業者が全部で30件ほどの企業回りをしています。ある程度にまとまった段階で職員が同行しています。

Q 「テレワーク推進事業」の数値目標についての考えは。

A 新年度は、冬期間を除いて5割の稼働を目指します。3年目には8割までもっていきたいと思います。

農林水産業費

Q 「農福連携事業」について、生産性と所得の向上について、想定されている検討課題は。

A 3年計画の2年目になります。国が推進するスマート農業と農作業のロボット化について、実践のデータをどう反映させるかについて取り組みます。



全長4kmの電柵(野尻地区) 信濃町農業の行方は

黒姫高原陸上競技場のトラックを大規模改修

福祉医療費給付を拡充—国保世帯主療養費9割給付を廃止—

ロボティクス農業と農福連携事業

商工観光費

Q 黒姫高原陸上競技場の改修工事はいつ行なう予定ですか。

A トップシーズンを避けたいと思いますので、9月以降の予定です。

Q 陸上競技場の利用者減に対する対処法は。

A 平成29〜30年度の利用者数は6500人でしたが、令和元年度は妙高高原スポーツ公園の整備により約900人の減です。改修を誘致につなげたいと思います。

Q 妙高市と観光面での連携は取れていますか。

A 信越高原連絡協議会のメンバーとして、駅伝大会をはじめ各イベントを通じて信越高原地区のブランド力を上げていきたいと思っています。



合宿誘致の強化を 改修予定の陸上トラック

土木費

Q 「住宅リフォーム支援事業」が減額されている理由は。

A 補助金の申請件数が少なかったことにより、予算と要望のバランスを取った結果です。

Q 新たに外構工事専用のリフォーム制度をつくってはどうか。

A 今後、見直しが必要だと思っています。

社会文教小委員会

民生費

Q 保育士が確保できず4名減になっていますか、保育への影響は。

A 法律に違反することはありませんが、先生方の疲弊は感じています。あらゆる手段で確保したいと思っています。

Q 国保世帯主療養費9割給付の支払いは、4〜7月分ですか。

A 4か月遅れで支給されますので、制度は7月で終了しますが、支払いは11月まで続きます。

Q 「福祉タクシール」について、助成対象の初乗り料金が下がり、メーターが上がる距離が短くなり見直しは。

A 事業を総括して新たな形を検討する余地があると思っています。

衛生費

Q 「新型インフルエンザ対策事業費」について、現時点でのマスク等の備蓄状況は。

A マスクは9500枚ありましたが、信越病院に5000枚、教育委員会に数百枚を拠出しました。防護服は段ボールで5〜6箱の在庫があります。※3月10日時点

Q 「骨髄等ドナー支援事業」について、助成金の内訳は。

A 骨髄提供は、説明会から提供のための入院まで10日ほどかかりますので、提供者に対しては1日2万円を上限に、勤務先に対しては休業補償として、1日1万円を上限にそれぞれ10日分を支払うものです。

教育費

Q 学校給食センターで、障がい者の雇用を1名分計上していますが、仕事の内容は。

A 午後の片づけをお願いする予定で、ハローワークにて募集をしています。

Q 総合体育館の改修工事について、財源は国の補助金ですか。



これも直します 古間グラウンドの看板

A 「学校施設環境改善交付金」を申請しています。

Q 改修工事の工期についてはいつ頃を予定していますか。

A 関係団体と相談の中で、1月～3月の間で考えています。

Q ナウマンゾウ博物館で「地域おこし協力隊」を募集するようですが、活動の内容は。

A 考古学の専門知識があり、発掘調査ができる方を希望しています。

Q 童話の森ギャラリーの企画展について、業者を仲介せずに職員が直接企画することのことで、

A これまで250万円の委託料が発生していましたが、直接交渉を行うことで100万円以上の減額ができました。



野尻湖発掘が延期に 次回に期待

本会議での討論

反対討論

伊藤 博美議員

昨年10月の消費税増税による打撃に、新型コロナウイルス感染症による打撃が加わり、深刻な不況に陥りつつあります。

こんな時こそ町民の命と健康に力を注ぎ、生業を守っていくことが町政の責任ではないでしょうか。

町内に圧倒的に多い、小規模事業の支援に力を集中し、内需の拡大と家計を守ることに全力をあげるべきだと思いますが、予算には施策が不十分であり、反対します。

賛成討論

佐藤 博一議員

一つには、新年度が無事にスタートを切ることが、行政の滞りなき事務執行として住民の福祉に繋がるものであるからです。

二つめとして新年度予算の策定、議会上程や審査を経ていく中で、当町を取り巻く、^{かさつ}寡雪や新型コロナウイルス感染症による環境の大いなる変化は、これから世界規模で経済悪化へと向かうと推測され、そういう時こそ、住民の福祉や暮らしふりと地域経済を守ることを求められます。予算の組み替え等の措置も視野に入れて頂きたい、賛成とします。

賛成討論

酒井 聡議員

町税などの税収の落ち込みが予想され、「過疎債」による措置の期限が令和2年度末に迫り、その後の対策が未確定であることから、依然として財源確保については厳しい状況が続いています。

その反面、「会計年度任用職員制度」開始による人件費支出増と、広域連合等への負担金の増額など、義務的支出の増が見込まれ、更なる財政の硬直化が懸念されます。

そうした中、各部署が一丸となって、財源確保の努力と歳出削減の工夫が行なわれたことに対して、大きく評価し賛成します。

賛成討論

佐藤 武雄議員

テレワーク推進事業は矢保利の館を利用し事業を行ない、冬期4か月間は閉鎖します。グリーン期だけで事業が成り立つのか、大変不透明です。

また、癒しの森事業は提携企業30数社、会員が、数万人の企業もあるとし10年以上、億の金額を注ぎ込んでの実績や結果は問われず。地元提携ロッヂ、旅館などの現状はどうでしょうか？この両事業、費用対効果からも町民というよりコンサルタントや事業者の為の事業であり、行政はどこを見て働いているのでしょうか？以上の意見を付しまして賛成します。

令和2年度 特別会計4予算全会一致で可決

国民健康保険特別会計予算など、左記の4予算案を社会文教常任委員会で審査しました。特に、国保予算では、「国保世帯主療養費の9割給付制度」が、今年の8月の受診分から、廃止となる予算案が提出されたことから、委員会では慎重な審査を行いました。

国保予算 主な委員会審査から

Q 「赤字解消計画」の説明を。

A 国保税(率)を上げずに、国保税に充てるために法定外繰入をしている場合は、国保税の改正(国保税を上げて)をし、法定外繰入を解消していくための赤字解消計画を作成し、県に提出することになります。

信濃町の法定外繰入は、任意給付(世帯主9割給付)ですので、今回の条例改正により赤字解消を行なう計画を提出します。

Q 国保被保険者(国保

加入者)の所得が減少している要因は何か。

A 国保加入者のうち、ある程度の日数を会社等に勤務している人には、社会保険への加入を促進しています。

所得のある方が、社会保険に加入することで国保加入者全体の所得が減少しています。

― 本会議での討論 ― 反対討論

片野 良之議員

信濃町が全国に誇る国保世帯主9割給付の制度を、住民に周知することも理解を求めるともせず、一方的に無くそうとしています。この様な内容の国保予算案には住民福祉の観点や住民益の観点から観ても賛成できません。よって、反対するものです。

介護予算 主な委員会審査から

Q 配食サービスの対象者は何人ですか。

A 55人です。

Q 在宅高齢者の栄養改善は、重要な支援です。回数を増やせませんか。

A 食で困っている方の声に応えるために、事業の拡充が必要です。

Q 現在、介護保険料は9段階です。多段階にする考えは。

A 具体的な案はありません。検討する必要があると思います。

Q 令和3年度から5年度の間の、第8期介護保険事業計画で、介護医療院の開設を策定しますか。

A 委員の皆さんと相談します。

後期高齢者予算 主な委員会審査から

Q 所得の少ない皆さんの保険料負担の状況は。

A 確かに、低所得の加入者の保険料が、多くなる制度改正が始まっています。

Q 団塊の世代が75歳以上になり、被保険者数は増えていますか。

A 約30人減です。死亡による自然減です。



保険事業の「健康アップ教室」受講者の皆さん

国民健康保険特別会計予算	11億4千万円
後期高齢者医療特別会計予算	1億3千万円
介護保険事業特別会計予算	9億1千万円
古海診療所特別会計予算	460万円

令和2年度 公営企業会計3予算全会一致で可決

信濃町が経営する企業は、これまでは水道と病院の2事業でした。令和2年度から下水の処理を新たに町が経営する企業とすることになりました。

水道事業予算 主な委員会審査から

- Q 石綿セメント管はどれくらいありますか。
- A 石綿セメント管は6km残っています。その内270mの布設替え工事を行ないます。
- Q 水道管耐震化の見通しは。
- A 耐震化率は19%です。全て耐震化するには30年程かかる見込みです。



〈公営企業会計〉	
水道事業会計予算	3億3千万円
病院事業会計予算	15億6千万円
下水道事業会計予算	8億8千万円

病院予算 主な委員会審査から

- Q 病院再整備計画策定の進捗状況は。
- A 75%の進捗です。残りは建築設計に係わる業務です。
- Q 経費削減で努力している部分は。
- A ジェネリック薬品を導入しています。
- Q 資金ショートを回避するための方策は。
- A 収益を上げる努力を病院全体で行ないます。
- Q 経営目標が高い。院内コンセンサスを得ているのですか。
- A 院長をはじめ、部長を中心に説明しています。
- Q 病院再整備計に関わっているコンサルから経営改善のアドバイスがありますか。
- A アドバイスはあります。

本会議での討論 賛成討論

永原 和男議員
包括ケア病床を2床増床し、急性期病床を2床減少する予算が編成されています。病床の変更は、実情に沿った改善と評価します。入院と外来収益の確保により、資金ショートを回避することを求めて賛成します。

下水道事業予算 主な委員会審査から

- Q 下水道特別会計を統合したデメリットは。
- A 新たに消費税納税義務者となり、納税額が20万円増えます。
- Q 下水道未供用地区の下水道を推進しますか。
- A 会計のみの統合です。
- Q 利用料単価に差異がありますか。
- A 利用料に差はありません。
- Q 下水道接続の負担金に変更がありますか。
- A 負担金に変更はありません。
- Q 公営企業会計とな

信濃町のマンホールのデザイン



り、80億円の資産が計上されています。この資産をどのように考えますか。

A 膨大な償却資産です。

国民健康保険条例及び福祉医療費給付金支給条例の一部改正 賛成多数で可決

国民健康保険条例及び福祉医療費給付金支給条例の一部を改正する条例について

賛成多数 可決

改正の主な点

国保の世帯主療養費9割給付制度を廃止し、新たに非課税世帯に限って福祉医療費給付金として支給する条例改正です。

Q 世帯主の中から非課税世帯抽出は可能か。

A 町のデータで抽出は可能です。

Q 国保の運営協議会での審議内容、意見は。

A 平成3年度から実施の趣旨は終了していることや世帯主療養費の財源が一般会計からの法定外の繰入れなどです。

Q 今後対象者への支払いは。

A 一回だけ受給者証の請求をしていただき、受給者証をその都度、医療機関で提示していただ

く、それ以外は今までと同じです。

反対討論

片野 良之議員

先ずこの条例改正について国保以外の方にも対象を広げることには一定の評価を致しますが、これまで対象であった国保1129世帯から283世帯と約4分の1へと大幅に、しかも対象の町民の方の理解を得ること無く、問答無用に削減しようとするこの行為は、住民の福祉向上を柱とする地方自治体の根本理念に反するとしか言えず、また福祉の後退だとしか言えません。よってこの議案には反対するものです。

議員諸氏にはもう一度住民福祉の観点から判断いただく様に強く求めて反対討論と致します。

賛成討論

湊 喜一議員

健全なる特別会計の本旨から言えば、法定外繰入れはよくありません。国保の制度が県への統合となったため、繰入れの目的がどうであれ、赤字解消のためのものとみなされ県からのペナルティーが来ることは必定です。

また被用者保険(企業・団体の保険)の医療費の本人負担は現在3割で、国保の世帯主の医療費が、1割負担であることが不公平感があります。この条例は特別会計への繰入れではなく福祉医療という名目で、一般会計から国保世帯主に直接補助することで、解決できています。

国保加入者のうちのおおよそ半数近くおられる非課税世帯の町民は、今まで通り1割負担であり、守られていることを強く申し、賛成討論とします。

反対討論

永原 和男議員

国保世帯主9割給付制度を廃止することに賛成する議員は、法定外繰入れを批判し、税の不公平を強調しました。国保世帯主9割給付の財源を、一般会計から国保会計に繰入れることは、任意事業ですから当然のことです。議会が、議決していますから違法性はありません。

私は、湊議員に聞いた。貴方は法定外繰入れを批判しますが、昨年は国保会計予算に賛成しています。貴方の主張に自己矛盾はありませんか。議員のみなさんに訴えます。法定外繰入れを否定し、税の不公平を強調するならば、当町の任意事業全てを廃止することになるのではありませんか。国保世帯主9割給付制度は、町民の願いが制度化された、地方自治の象徴です。誇れる福祉の制度を守りましょう。

また、町内酪農家への引き上げ率が、町外者よりも高いことも問題です。さらに、新型コロナウイルスの影響で、牛乳の消費が減退しています。このような時期に4月1日から料金を増額すべきではありません。

牧場の利用及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

賛成多数 可決

Q 一年に何頭預けていますか。

A 平成30年度で延べ30000頭です。黒姫牧場は、0頭です。

反対討論

永原 和男議員

酪農家が、町営牧場に子牛を預ける場合の、預託料金の増額を行なう条例改正に反対します。

酪農は厳しい経営状況にあります。今求められていることは、酪農を応援することです。酪農経営を圧迫する条例改正には反対です。

また、町内酪農家への引き上げ率が、町外者よりも高いことも問題です。さらに、新型コロナウイルスの影響で、牛乳の消費が減退しています。このような時期に4月1日から料金を増額すべきではありません。

長期振興計画評価委員会
設置条例制定について
全員賛成 可決

賛成討論

片野 良之議員

はじめに出された10号議案では曖昧だった条例の中身が、十分とはいえないまでも改善された事を評価しています。今後は更に明確な内容に改正して行かれるように意見を附して賛成とするものです。

請願・陳情

請願

免税軽油制度の継続を求める請願書

〈請願者〉

黒姫高原スノーパーク
代表取締役

一ノ本 達巳
タングラムスキーサーカス

統括総支配人

戸井田 敏活
紹介議員 佐藤 武雄

(採択)

陳情

子ども医療費無料化の制度創設、及び子どもや障がい者等の医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額処置に関する意見書についての陳情

〈陳情者〉

長野地区社会保障推進協議会

会長 菅田 敏夫

(採択)

賛成討論

片野 良之議員

子ども医療費の対応を国の責任において一律無料化することを求めており、市町村に対する国保への国庫負担金の減額措置を全廃することを求めているものです。至極もっともな要求であり、誰もが安心して暮らせる住民益に合う要求です。よって賛成とするものです。

消費税5%への引き下げを求める陳情

〈陳情者〉

長野民主商工会内
消費税廃止長野連絡会

会長 宮沢 栄一

(不採択)

賛成討論

伊藤 博美議員

消費税率10%への増税を強行したことにより景気の悪化が鮮明になりました。経済対策を考えるのであれば、消費税減税で

それが最も有効な景気対策です。所得が少ない人も、赤字経営の事業者にも納税させるなど不公平な税制です。

この税率を続けるならば新型コロナウイルスの影響で、更なる景気後退と不況を招きます。消費税率5%への引き下げで格差と貧困の是正を求めて賛成します。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

〈陳情者〉

長野地区労働組合総連合
議長 大矢 美奈子

(不採択)

反対討論

佐藤 武雄議員

経済の3要素である、もの(土地・工場・設備)そして人、技術に対する投資を拡大する事が生産性の向上に繋がります。日本の実質GDPの60%以上が内需つまり個人消

賛成討論

伊藤 博美議員

アベノミクスによって大企業の内部留保は増えましたが、労働者の実質賃金は下がり、消費支出も減少し続けています。若い人は高い賃金を求めて地域を離れ、労働力不足と地域経済に大きな影響を及ぼしています。最低賃金を引き上げるには中小企業への支援が必要です。

国が社会保険料の負担軽減や賃金助成など中小企業に支援を求めて賛成とします。

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書

〈陳情者〉

長野県医療労働組合連合
執行委員長 小林 吟子

(採択)

賛成討論

片野 良之議員

2017年度のOECD諸国での調査で人口千人あたりの医師数では36カ国中31位という絶対的医師不足が露呈しています。地域住民が安心して暮らせる医療体制や地域包括ケア体制の充実のため、医師数を確保できるようにこの陳情の願意に賛成するものとします。



第417回定例会 3月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成●反対/病欠・公務出張等により欠席・議決に不参加 {議長は議決に参加しない (-)}

Table with columns for proposal number, content, and voting results for various council members.

※全会一致の48案件についてはホームページにてご確認をお願いします。

信濃町議会 検索

議員発議

免税軽油制度の継続を求める意見書

提出者 石川 広之

(可決)

子ども医療費無料化の制度創設、及び子どもや障がい者等の医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額処置に関する意見書

提出者 酒井 聡

(可決)

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書

提出者 酒井 聡

(可決)



農業委員12名を全会一致で同意

3月会議最終日の24日、第23代農業委員12名の推薦に対して同意を求める議案が提出され、すべて全会一致で可決されました。任期は令和5年3月までです。

人事の同意

○信濃町農業委員の選任について



永原 邦徳 (穂波・再任) 松木 公夫 (野尻・新任) 佐藤 俊正 (古海・再任) 風間 昭一 (柏原・再任)



小林 栄 (柏原・再任) 出浦 洋子 (大井・再任) 静谷 八重子 (荒瀬原・再任) 井澤 準一 (野尻・再任) 吉川 英一 (富濃・新任)

事務局人事異動

○議会事務局次長

(転任) 松木 昭彦

産業観光課 係長から

商工観光・癒しの森係

(前任) 池田 博也

総務課

まちづくり企画係

係長へ

一般質問通告一覧

(通告順)

- 1. 佐藤 武雄 議員
 - 町政施策、運営は
 - 下水道事業について
- 2. 佐藤 博一 議員
 - 姉妹都市について
 - トップセールスについて
 - コンプライアンスについて
 - 観光振興について
- 3. 永原 和男 議員
 - 信越病院の存続と経営改善を
 - 国保税一人当たり 14,000 円以上の減税を
- 4. 石川 広之 議員
 - 町、農業対応について
- 5. 湊 喜一 議員
 - 地域住民の命を守る災害発生時の情報共有について
 - GIGA スクール構想および学校における働き方改革について
- 6. 外谷 孝司 議員
 - 豚熱について
- 7. 伊藤 博美 議員
 - 気候変動
 - 農業支援
 - 土砂搬入



一般質問

佐藤 博一 議員 法令遵守が

当たり前です

町長「繰り返し研修を」



姉妹都市締結

質問 能登町との姉妹都市締結の期待されることは、いかがですか。

町長 締結が延期ではありませんが、観光・教育・経済などあらゆる面での結びつきが、両町の発展につながると思います。

質問 姉妹都市の元々は流山市ですので、20万人のマーケットと考えると、流山市も大事にして下さい。

トップセールス

質問 癒しの森サロンのあり方、認識は。

町長 実のある方向で進め、今後どういう形が良いか検討も必要です。

観光振興

質問 駅前観光案内所と道の駅情報センターは合同での研修があまりありますか。

産業観光課長 今月開催と聞いております。

質問 観光の誘客も企業誘致もトップの気持ち次第です。

コンプライアンス

質問 公務員は法令遵守が当たり前です。若手職員が確定申告時にダブルチェックをしており、こ



信濃町の観光拠点に

のような職員のやる気を起こさせるような研修は。町長 職員が様々な研修をしても、不祥事が出るのは成果が出ていないと捉えざるを得ないので、繰り返し、繰り返し研修をやるのが重要です。質問 納品の検査は。総務課長 検収の徹底に努めてまいります。質問 ダブル・チェックなどして不祥事の未然防止に努められたい。

佐藤 武雄 議員 コンサルタント

依存への考えは

町長「基本計画に基づいて実施」



質問 各事業、コンサルタントに依存し、補助金が切れればコンサルタンとも撤退します。数値目標での評価、検証は。町長 基本計画に基づき見直し評価しながら、次年度に結びつけていきます。

質問 地方創生において他自治体との違いを活かす施策への考えは。町長 ノマドワーク事業は首都圏の企業が働き方改革での利用や自然も含め活用の方で進めていきます。

質問 地方創生において他自治体との違いを活かす施策への考えは。町長 ノマドワーク事業は首都圏の企業が働き方改革での利用や自然も含め活用の方で進めていきます。

質問 地方創生において他自治体との違いを活かす施策への考えは。町長 ノマドワーク事業は首都圏の企業が働き方改革での利用や自然も含め活用の方で進めていきます。

トライアスロンについて

質問 事務局移管について進捗状況は。産業観光課長 県トライアスロン担当、町内団体と打ち合わせしています。質問 事務局移管後の町としてのサポート体制は。産業観光課長 団体の皆様の指定で臨時職員の方一名を増やす方向で検討しています。

質問 トライアスロン大会の経済効果は。町長 最初の頃からの経済効果ほどは見込まれていないという



雪上トライアスロン in タングラム斑尾(昨年の大会)

質問 夏の野尻湖トライアスロン大会、冬のタングラム斑尾での雪上トライアスロン大会と、夏冬出来るのは、全国で唯一信濃町だけです。地方創生の根幹で特色ある両大会をアピールして信濃町を一層盛り上げる前向きな考えは。町長 具体的にどう関わっていただけるか、慎重に考える必要がある。質問 町長の後ろ向きな答弁大変残念です。今後とも注視していきます。

永原 和男 議員 世帯主9割給付制度を廃止する理由は

町長「不公平感をなくすため」



質問 世帯主9割給付制度を廃止する理由は。町長 平成3年度からスタートした。当時は国保の負担率が3割。社会保険の本人が1割負担。当時の首長が公約として、社保と同じ負担率にした。平成15年に、被用者保険(社会保険)も窓口負担が3割になった。不

公平感をなくすために、世帯主9割給付制度を改正する。

質問 横川町長の公約はどうか。平成26年11月の黒姫民報で、横川正知さんは、「国保世帯の現状に鑑み、国保世帯主9割給付制度は、維持していきたい」と回答している。平成27年3月定例会の答弁では、「世帯主9割給付制度は、国保制度というよりも福祉の制度です」と答弁している。

改めて伺います。地方自治、役場の仕事の本旨は何か。町長 福祉の向上ということでありませぬ。

質問 福祉制度の「世帯主9割給付制度」を廃止することです。

質問 福祉制度の「世帯主9割給付制度」を廃止することです。

質問 福祉制度の「世帯主9割給付制度」を廃止することです。

地方自治の本旨は

日本国憲法 第92条 地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。

地方自治法 第1条の2 地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

石川 広之 議員
町はコメの
ブランド化を
産業観光課長
「農家の経営努力に期待を」



質問 ブランドは誰かが認可するものではありません。地域・行政・JAなどの対応により、また生産者や販売業者などを動かしてブランド化の取り組みを進める考えは。産業観光課長 JAなどの共同で、営農支援センターに技術支援対策の部署を設けています。コ

メのブランド化についても、長野県でも高い評価を得ているコメです。各農家の経営努力に期待し地域のブランド化を図ってまいります。質問 ブランド化への方向で、品種やネーミングなど、品質向上と食味向上などの取り組みは。産業観光課長 信濃町に適した品種を、長野県試験場でも検討しています。

質問 町には耕作されない農地はどのくらいありますか。平成30年度では、すぐに復旧できる農地は94ヘクタール、大がかりな復旧作業が必要な農地は、47ヘクタールを確認しています。質問 農業委員会は、放棄地をどのよう



農地の排水・改良工事

一般質問

湊 喜一 議員
命を守る

防災時の情報共有は

町長「小さな自治体でどこまでできるか」



質問 国の防災科学技術研究所が開発した、システムはICTを利用して発災時の状況把握、避難指示、避難状況等を一元的に情報共有できます。町長 難しい話ですが、大事な部分です。小さな自治体でどこまで使いたいのか、いろいろな意味で検討していかなくてはなりません。質問 リアルタイムの発災状況を知ることができ、また避難状況もわかるので、行動がとりやすくなります。

教育次長 学校および文化三館はクラウド化済みで、災害時には情報共有できます。

住民福祉課長 避難所運営において、そのシステムの構築も必要かなと思います。総務課長 今は、県の災害対策本部での運用に限られています。今後、開発が進むと思いますので、検討していきます。



I・S・U・Tによる災害時の情報収集・発信

G I G A
スクール構想

質問 G I G A スクール構想、要するにICTを使ったコンピュータの利用教育の現状と児童生徒用の端末の整備は。教育次長 学校のI

CTの整備は昨年9月に行なっています。児童生徒用端末は、2・5人に一台の整備は完了しています。

質問 全国平均は5・4人に一台です。非常に進んでいることは評価しますが、これは手段であり、効率的に使って学びを豊かにする必要があり。展望は。教育長 プログラミング授業を実施しました。引き続き精力的に取り組んでいきたい。

外谷 孝司 議員
豚熱について

町長「必要な対応は必要な時点でやっていく」



質問 豚熱は、日本では26年ぶりに岐阜県で最初に確認され、長野県でも4戸の養豚場で発病し、イノシシの発病は全県に広がってしまった。県、町レベルでの対応はどうなっていますか。

町長 2月16日に北信地方でもイノシシの陽性が確認され、今後は県当局のいろいろな方針を含めて必要な対応をやっていきたい。質問 2月21日に長野市で捕獲されたイノシシも陽性が確認されました。2月9日の県農政部の発表では、県内26市町村で

町の対策は

640頭のイノシシの検査で172頭の陽性が確認されたということです。町内で捕獲されたイノシシは全頭検査をされています。

対策はしていますか。産業観光課長 今は撒いていない状況です。質問 新潟県や群馬県など、隣県に移さないよう当町でも対策は取ってはどうでしょうか。町長 その方向性、極めて大事だと思います。今後対応をしていきます。

産業観光課長 昨年度は町内で23頭捕獲されていますが、全頭検査はしています。質問 町営牧場にもイノシシが出入りしている。町は消石灰を撒くなど



民家に出没したイノシシ

伊藤 博美 議員
町独自の水質、土壌検査を実施すべきでは
町長「予定はありません」



質問 住民が安心・安全に暮らせる環境保全と、風評被害を防止することが必要。地元で連絡がなかった理由は。住民福祉課長 搬入と同時に事業の認知をした。質問 事業主体は長野市と聞いている。どんな説明を受けたのか。住民福祉課長 事業主体

質問 住民が安心・安全に暮らせる環境保全と、風評被害を防止することが必要。地元で連絡がなかった理由は。住民福祉課長 搬入と同時に事業の認知をした。質問 事業主体は長野市と聞いている。どんな説明を受けたのか。住民福祉課長 事業主体

は長野市です。土砂の堆積土搬入事業です。耕土・客土としての搬入と聞いています。質問 客土の場合は農地改良行為に該当し、農地転用許可か、一時転用許可が必要ではないか。農業委員会 現状では転用の必要はありません。質問 土壌の安全性について、従前との比較で高い数値が出ている。住民福祉課長 差がある事は確認できますが、一概に対応できないと思います。質問 水質や土壌検査は町が実施すべきでは。町長 法律、規則なりをクリアしていれば口出しはできない。質問 町が検査するつもりはないということか。町長 予定はありません。



土砂搬入の現場

※ この他に気候変動について町の取り組みを質問者本人が作成します。

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

一般質問

ぎかい活動365日

— 1月から3月までの主なもの —

1/22 研修

長野県地方自治政策課題研修会

長野県庁講堂で開催された研修会に参加しました。県議会の実行委員会主催により、県議会議員、市町村長、市町村議会議員を対象に、政策課題について、学識経験者等の講演により今後の対応に資するものです。

内容

「地方議員のなり手不足問題について」講師・長野県立大学グローバルマネジメント学部助教 三浦正士氏他学生発表者。

「AI・IOTがもたらす未来の社会」講師・富士通(株)シニアエバンジェリスト 及川洋光氏。



1/23 24 調査

社会文教常任委員会

社会文教常任委員会は1月23、24日の日程で、石川県志賀町の「町立富来病院」と白山市の「白石川医療企業団 公立つるぎ病院」の2施設に対して所管事務調査を行いました。

富来病院は、病院の経営改善策のひとつとし

て、医療療養病床と介護療養病床を、介護医療院「夕なぎ」として別施設に転換しています。これは、「病院の中にある介護保険病床は、令和5年度末をもって病院と別施設にすること」という、国の施策に沿うものです。

また、公立つるぎ病院は、地域医療と介護事業の連携強化を図るために、「在宅医療支援センター」を設置しています。また、白山市の各公立病院は、複数の市町村で複数の医療施設を経営する、「医療企業団」という経営手法をとっています。これは、長野県内には見られない経営形態です。

今回の視察では、これら石川県での公立病院が取り組んでいる地域医療と介護事業の先進事例に触れることができました。

当委員会として今回の視察結果をもとに、介護医療院開設の必要性



介護医療院 夕なぎ

などの提言を行ないました。

表紙の写真



コロナ対策に限らず、日頃から手洗い、うがいを徹底している保育園児です。良い習慣を小さな頃から身に付け、ずっと励行することを願うものです。

編集後記

世の中は、何かと物騒な状態続き。しかしながら新年度が始まり、一ヶ月が経過。行政・議会はお互い両輪として待ったなし。今年度も議会活動を分かりやすくお伝えしていきます。広報委員全員一丸となり、明るい健全な社会となるよう頑張ってください。

(博)

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。また、お気軽に議会傍聴においで下さい。

送り先：信濃町柏原 428-2 FAX 255-3081

— 議会広報調査特別委員会 —

委員長・佐藤武雄 副委員長・酒井 聡
委員・永原和男・片野良之・外谷孝司・佐藤博一

政策提言

議会から町に対しての政策提言が行なわれ、3月6日に手交されました。今年度の提言事項は次の2項目でした。



総務産業常任委員会 地域公共交通事業について

全国的に人口減少の中、交通事情が大きく変わってきました。民間事業者の営業悪化から、行政が事業費を負担し、各自治体が住民の移動手段として運行事業をするようになり、また、高齢者の免許維持が大きな負担となってきています。

このような事から、今町が取り組んでいる信濃町地域公共交通事業が平成24年度に始まり、平成29年には、信濃町地域公共交通網形成計画を策定しています。この計画も5年の期間として令和3年には見直しとあります。

路線バス、デマンド・タクシーまた民間事業者との公共交通のあり方、また広範囲に集落が点在する当町での交通網の確保、維持の早期再検討の要請をするため、下記の事項を提言します。

- (1) 路線バス車輛の老朽化に対し、事業者と協議し更新すること
- (2) 信濃町地域公共交通協議会の構成員に一般の公募も加え、見直しを検討すること
- (3) ふれあいコスモス号の利便性の向上と利用者増を図ること
- (4) 運転免許証の自主返納者への公共交通関連等の更なる特典等を検討・実施すること
- (5) 公共交通のPDCAによる評価検証を行ない、それに基づき福祉有償運送も含め町全体の交通網体制の見直しに着手すること

社会文教常任委員会 介護医療院への転換について

国は令和5年度末をもって介護療養病床を介護医療院に転換し、長期療養のための「医療」と日常生活上の「介護」を一体的に提供する施設を設置することとしています。

当町にあっては、信越病院の「こすもす病棟」50床のうち介護療養病床25床がこれに当たり、介護医療院への転換は決定事項として開設に向けた準備を始めるとともに、医療療養病床25床の転換もあわせて検討しなければなりません。しかし、県内の公立病院において介護医療院の開設を行なった事例がなく、開設に向けた手順の参考事例などが見られませんが、他県には先進事例もみられます。その事例を参考にして開設の準備を始められたく下記事項を提言します。

- (1) 第8期介護保険事業計画の策定に当たり、介護医療院の開設を明記するとともに、予想される入所対象者の把握と、必要となる施設規模と人員の想定など、開設に向けた準備を行なわれない。
- (2) 新病院の建設計画に当たっては介護医療院の併設を前提に、入所者一人当たりの床面積や付随施設の面積など介護医療院の開設要件を含めたものが望ましいので、担当部署が横断的に情報交換されるよう求めます。

こんにちは

でばん わたしの出番です

パワフル母ちゃんを目指して 瑞穂 中條早百合さんと、
私の趣味 大井 宮澤 和人さんです。



パワフル母ちゃんを目指して

瑞穂 中條早百合さん

私は5年程前、夫と共に

通の趣味であるスノーボードをきっかけに信濃町での暮らしを決めました。都会からのイターンでしたがあまり不安はなく、どんな出会いや出来事が待っているのだろうとわくわくする気持ちの

方が強かった事を覚えて
います。

移住当時は、都会暮らしとの違いに悪戦苦闘する事もありましたが今では二人の子宝にも恵まれ、季節の移り変わりを共に感じながらのんびりと生活しています。

私は、信濃町に住む人



私の趣味

大井 宮澤 和人さん

私は数年間の単身赴任を最後に定年退職し、次の仕事に就いて三年目になります。退職したら、あれもやろうこれもやろうと趣味三昧を夢見ていました。ところが、いざ退職してみると、休日は家の用事や地域の仕事な

どで忙しく、思ったほど余裕はありません。しかし、そのような中で楽しんでるのが早朝のウォーキングです。県内各地を転勤したので、行く先々の町を歩いて探索しました。信濃町に戻って歩いてみると、北信五岳に囲まれ四季それぞれ

達から“出来る事は自分の手で”の精神で、畑をしたり物作りをしたりと、暮らしを豊かにする工夫をし、生活を楽しむ姿に強さと逞しさを感じます。そんな人達から生活の知恵を教わり、パワフル母ちゃんを目指して、お世話になってる周りの方々やいつか来る人達に何か貢献していけたらなと考えています。

の景色は美しく、改めて信濃町の自然の素晴らしさを実感しています。更にもう一つの楽しみがたまのゴルフです。妻の小さな耳を傾けず、用事の合間を縫って出掛けています。上達はしませんが広いゴルフ場は心が晴れ晴れします。今はこれらが私の趣味ですが、健康維持のためにも長く続けていこうと思います。

三館企画

一茶のふるさと

柏原を探る

私たちの住む信濃町地域は、およそ江戸時代初期に各集落の原型ができあがりしましたが、それ以前の様子はほとんど文献がなく、はっきりと判っていません。

今、私とそのヒントになるのではと期待しているのが、代々柏原宿の本陣・問屋を務めた中村六左衛門家の第十代利資が書いた「柏原根元録」です。ちなみに利資は小林一茶の一歳年下で、一茶の後見人とも言える存在でした。

「柏原根元録」には、戦国時代に中村六左衛門家の先祖が越後から移住し、柏原を開拓していった歴史が記されています。2世紀以上も後の記録なので、学術的には、これをそのまま史実とすることはできないのですが、歴代領主や検地の記録など様々な具体的な情報が記されています。現在、それらを一つ一つ分析していますが、色々なことが判明しそうな手応えがあります。

昨年、町の古文書勉強会の皆さんが出版した「北国街道柏原宿の本陣日記」で「柏原根元録」も活字化されました。一茶記念館で販売していますので、よろしければ手にとってみてください。

一茶記念館学芸員 渡辺 洋